

お客様にとって
一番の工作機械メーカーであること。
それが私たちのグローバルワンです。

切削型工作機械の総合メーカーとして、
森精機製作所は常にもものづくりの原点を支えてきました。

その歩みは、常に変革と挑戦の歴史でもありました。

そして今、私たちが目指していること。

それは、お客様にとって一番の工作機械メーカーになることです。

最高の技術とサービスを絶えず追求し、

工作機械の新しい価値を、無限の可能性を、

世界中のお客様へお届けしてまいります。

連結財務ハイライト

連結売上高



1,553億円

前期比

29.0% ↑

連結営業利益

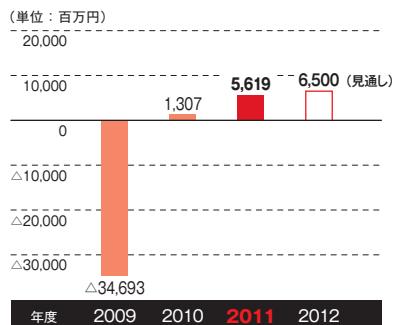


68億円

前期比

65億円 ↑

連結当期純利益



56億円

前期比

43億円 ↑



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。
ここに第64期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

2012年6月 取締役社長 工学博士 森 雅彦

事業の経過及び成果

当期の工作機械業界における受注環境は、欧州での金融財政不安や中国での金融引き締め等の影響が懸念されましたが、日本工作機械工業会の発表によると、2011年度の工作機械受注額は、前年度比17.8%増を記録するなど、受注は堅調に推移しています。

こうした状況のもとで、当期の業績は、連結売上高155,320百万円、連結営業利益6,788百万円、連結経常利益5,915百万円、連結当期純利益5,619百万円となりました。

当期の取り組みと今後の課題

製品面では、「NTX2000」が日刊工業新聞社選定の「第54回十大新製品賞」を受賞いたしました。主力機種「Xクラス」のラインアップを拡充し、近年需要が高まっている建設機械や航空機、エネルギー産業における大型ワークや難削材の加工など、より多くのお客様の生産現場を支えてまいります。

生産面では、2012年2月に放射能防護プロセスを導入し、第三者検査機関より認証を取得いたしました。放射能汚染の懸念をいち早く払拭し、世界各国のお客様に安心して当社製品をご購入いただけるよう努めてまいります。また、伊賀事業所に建設した新工場では、より一層の生産性向上を図り、工作機械の部品加工・ユニット組立・機械組立の工程の整流化を進めてまいります。

欧州販売網の強化

2012年3月に欧州連結子会社*の全株式をDMG MORI SEIKI Europe AG(当社とGILDEMEISTER AG社との合弁会社)に現物出資し、その対価として、DMG MORI SEIKI Europe AGの株式を取得いたしました。これより、当社は欧州各国において、販売・サービス事業をGILDEMEISTER AG社と統合することが可能となり、当社製品の拡販につながるものと考えております。今後も、販売・サービス、購買、生産、開発等の分野での協業体制の強化に努めます。

配当について

第64期の期末配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり10円を6月18日からお支払いすることといたします(中間配当と合わせ、通期では20円となります)。利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的かつ永続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、今後とも、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

*MORI SEIKI (UK) LIMITED, MORI SEIKI FRANCE SAS,
MORI SEIKI ITALIANA S.R.L., MORI SEIKI ESPANA, S.A.

豊かな暮らしを支える工作機械

様々な分野の製品づくりに、森精機の工作機械が活躍しています。



工作機械は多くの製品の構成部品や金型を生み出します。

01 航空・宇宙



02 自動車・バイク



03 船舶・建機



04 電機・通信・半導体



05 精密・金型



06 発電・資源・エネルギー



07 医療



GILDEMEISTER AG(DMG)との協業

グローバルな工作機械市場での リーダーシップ確立を目指して

2009年3月に始まった両社の業務及び資本提携は、販売拠点の統合、部品供給、共同開発、顧客向けファイナンス事業など飛躍的に進展しております。2011年4月にはDMG株式の追加取得を行い、DMG総株式発行数に対する当グループの株式保有率は20.1%となり、さらに提携基盤を磐石なものとなりました。

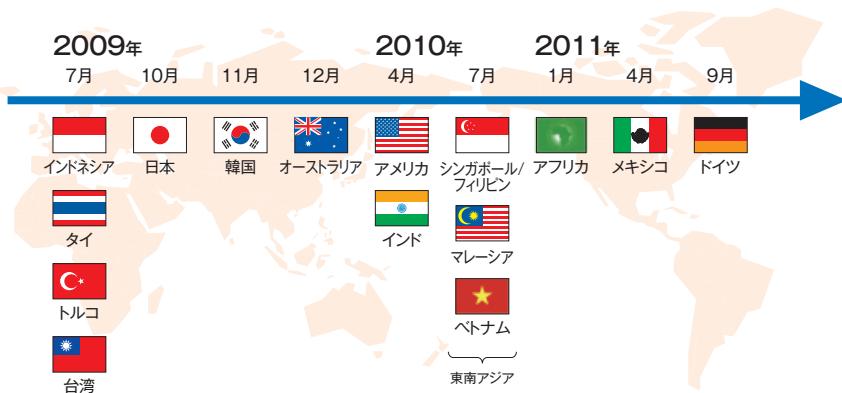
【 GILDEMEISTER AGの会社概要 】

名称	GILDEMEISTER AG
主な事業内容	工作機械の製造、販売
設立年月日	1870年(明治3年)10月1日
本店所在地	Gildemeisterstr. 60 D-33689 Bielefeld Germany
代表者	Ruediger Kapitza CEO
資本金	151.7百万ユーロ
従業員数	6,032名(連結)
業績(2011年1月~2011年12月)	
売上高	1,687.7百万ユーロ
営業利益	112.5百万ユーロ
純利益	45.5百万ユーロ
総資産	1,371.8百万ユーロ

出典:DMG Annual Report 2011

2012年、欧州事業の新たな挑戦

2012年1月、DMGとの共同出資のもと、DMG MORI SEIKI Europe AGを設立し、欧州での販売・サービス事業の共同展開を開始しました。これにより欧州の販売拠点は17拠点から26拠点へ増加しました。欧州市場において強力なプレゼンスを有するDMGとの販売統合を進めることで、当社製品の拡販につながるものと考えております。



今後の欧州事業の中心となるDMG MORI SEIKI Europe AGはスイスに設立されました。事務所から程近いチューリッヒは古くからの国際都市で、どの欧州拠点へも抜群のアクセスを保証します。

DMGとの交換研修

DMG及び当社製品に精通したエキスパートを増やし、お客様へのサポート体制を一層強化するため、機械の組立・調整方法や精度出し方法等を学ぶサービスエンジニアの交換研修を行っています。

今後も同様の交換研修の継続を通じて、「高品質」「高精度」「高剛性」という当社製品のブランドを欧州でさらに広めるとともに、DMG製品に対する当社エンジニアの技術知識を確かなものにしたいと考えています。



主軸センサーの取り付け
研修(2012年2月)

トピックス



EMO Hannover 2011

2011年9月にドイツで開催されたEMO Hannover 2011は、国際的な工作機械専門の見本市で、今回は世界中から2,000社以上が出展し、期間中は100カ国を超える地域より、約14万名が来場しました。当社は、DMG / MORI SEIKIとして、欧州では初めてとなる共同展示を実施しました。会場では世界初出展となる新機種25台を含む97台が展示され、実機による臨場感のあるデモ加工を行いました。

また、初の共同開発機である次世代コンパクトマシニングセンタ MILLTAP 700も、欧州での初披露となりました。大規模な共同プロジェクトを通して、欧州での協業開始を広くお客様にご案内することができました。



次世代コンパクト
マシニングセンタ
MILLTAP 700



上海ソリューションセンタ開設

2012年11月、上海の拠点を同市南西部の莘庄^{しんしょう}開発区へ移転しました。建屋内には機械を10台以上設置でき、デモ加工が可能な展示スペース、パーツセンタ、講義室や事務所を兼ね備えております。ゆとりのある空間で、お客様、販売店様、お取引先企業のご要求に多方面でお応えできる、ワンストップ型の「ソリューションセンタ」として生まれ変わりました。



◀ グランドオープン式典

オープンハウスでは、約260名のお客様がご来場され、広々とした展示スペースで熱心な商談が続きました。



シンガポールでの就職フェアに参加

2012年2月7～8日、ナンヤン工科大学及びシンガポール国立大学での就職フェアに参加しました。両大学ともシンガポール国籍の学生のみならず、各国から優秀な留学生が集まる世界でも有数の名門大学です。当社ブースへは2日間で約500名の学生が来訪し、終始熱気に包まれていました。海外での就職フェアを通して、グローバルな採用活動を積極的に展開してまいります。



● 伊賀第2組立工場の完成

最新鋭の設備を備えた新加工工場に隣接し、2012年3月末に伊賀事業所内に第2組立工場が完成しました。建物は無窓設計のため、工場内は温度変化 $20^{\circ}\text{C}\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ で管理されており、組み立て環境を十分に整えた工場となっています。機械の組み立てにとどまらず、システム案件の立会いや梱包エリアとしても活用することにより、事業所全体の最適化及び既存の組立工場の生産効率化に貢献してまいります。



■概要	
建物延べ床面積	12,000㎡
建物の大きさ	84m×147m
室 温	$20^{\circ}\text{C}\pm 0.5^{\circ}\text{C}$



お清め式▶

関係者出席のもと、春日神社の宮司様を招き、お清め式を開催しました。

● 放射能防護プロセス認証を取得

放射能汚染の懸念を払拭し、世界各国のお客様に対し安心して当社製品を提供するため、伊賀・奈良・千葉の各事業所及び連結子会社である(株)マグネスケールに放射能防護プロセスを導入し、テュフ ラインランド ジャパン社*より認証を取得しました。これにより、放射能汚染のリスク管理を図るだけでなく、当社の測定や管理の方法が適切であることが証明できます。今後は定期的に審査を受け、認証の効力を維持するべく努めてまいります。

*テュフ ラインランド社

原子力の応用システム等の適合性評価、放射線の防護及び計測に至るまでの幅広い分野で経験を重ねており、140年の歴史を持つ世界でもトップクラスの第三者検査機関です。



● (株)マグネスケールが伊賀事業所内に生産拠点を増設

2011年10月、連結子会社の(株)マグネスケールが、当社伊賀事業所内に工作機械の高精度を支える“アブソリュートマグネスケール”の生産工場を設立いたしました。現在の生産台数比2.5倍の生産体制を目指しております。スケールの生産には、厳密な室温・振動管理が必要であるため、工場の測定室内は常時室温 $20\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ 以内に保たれ、特殊な免震装置の設置により無振動の環境を実現しています。2012年秋には全工程の一貫生産体制を目指します。



中期経営計画



森精機製作所は経営理念に基づき、工作機械産業における世界的な先駆者であるとともに、お客様の最良のパートナーでありたいと考えます。そのビジョンを共有し、確実な戦略を実行するために、2011～2013年度を実施期間とする第3次中期経営計画「GQ-C-SI 123」を実施しています。本計画では「先進的なソリューションを持つ、一步先を行く企業」をビジョンとして、積極的な投資、業務提携を推進しております。そして、生産性及びシェアを向上することで高い収益性を確保し、企業価値の向上を実現します。

[VISION] 先進的なソリューションを持つ、一步先を行く企業を目指します。

Global Quality for Customers with Speed and Innovation

生産拠点のグローバル化

工作機械の消費がグローバルに拡大する中で、販売拠点だけでなく生産拠点のグローバル化も進めてまいります。現地調達、現地生産による「為替変動リスクの軽減」、需要地近くでの生産による「輸送リードタイム、輸送コスト」の低減を実現し、経営体質の強化を図ります。



*1 ライセンスに基づき森精機製製品を生産しているDMG工場
*2 Ecolineを生産しているDMG工場
*3 2012年度夏より生産開始予定

● DMG工場 ● 森精機工場

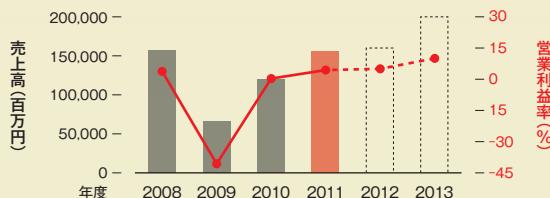
Xクラスの投入と進化 DMG機の販売

旋盤、マシニングセンタ、複合加工機の分野における最新鋭機として、「Xクラス」を投入してまいりました。2012年度もシリーズの充実化を進めるとともに、お客様のご要望を反映した開発を行ってまいります。DMGの持つ最新のレーザー加工技術、超音波加工技術を搭載した「LASERTEC」、「ULTRASONIC」の販売を開始しました。それによりお客様への新たなソリューション提供が可能となりました。

10% operating margin in Fiscal Year 2013
20% more productivity
30% more share

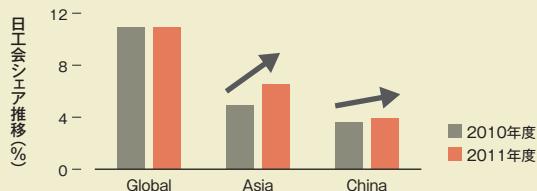
売上高、営業利益率の回復

売上高、営業利益率ともに増加傾向にあります。2011年度は売上高は前年度比29%増加し、営業利益率は4%台まで回復しました。2012年度も工作機械の需要は堅調に推移するものと思われます。



新興国におけるシェア増加

グローバルでの日工会シェアは前年度に続き10%強を維持し、アジア、中国の新興国地域では増加しております。今後も成長が望まれるこれらの市場においてシェアを増加させるため、ブランドの浸透と拡販を図ります。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

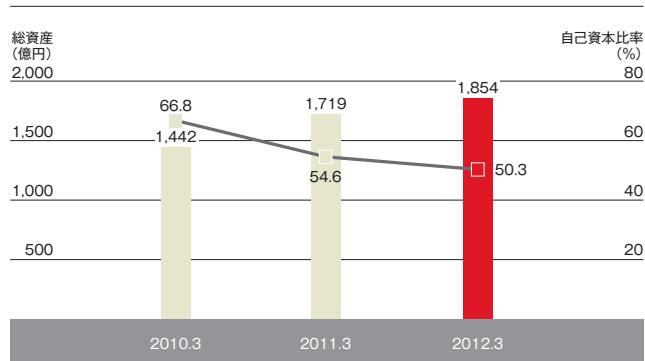
科目	前期	当期
	2011年3月31日現在	2012年3月31日現在
流動資産	86,177	86,028
固定資産	85,772	99,390
有形固定資産	54,421	55,562
無形固定資産	6,256	5,878
投資その他の資産	25,094	37,949
資産合計	171,949	185,419
流動負債	66,303	53,094
固定負債	10,317	37,606
純資産合計	95,328	94,718
負債・純資産合計	171,949	185,419

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日	自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日
売上高	120,428	155,320
売上原価	80,863	105,950
売上総利益	39,564	49,370
販売費及び一般管理費	39,244	42,581
営業利益	320	6,788
営業外収益	1,427	614
営業外費用	1,180	1,487
経常利益	566	5,915
特別利益	1,612	4,005
特別損失	994	3,219
税金等調整前当期純利益	1,184	6,702
当期純利益	1,307	5,619

総資産／自己資本比率



詳細情報は

<http://www.moriseiki.com/japanese/ir>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自 2010年4月 1日 至 2011年3月31日	自 2011年4月 1日 至 2012年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,240	8,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,054	△ 22,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,107	10,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	△ 293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 101	△ 2,883
現金及び現金同等物の期首残高	7,255	7,414
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加額	260	94
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△92
現金及び現金同等物の期末残高	7,414	4,532

会社データ

会社の概要

2012年3月31日現在

会社名	株式会社森精機製作所(MORI SEIKI CO., LTD.)
資本金	41,132百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	奈良県大和郡山市北郡山町106番地
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)
東京支社	〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟 18階 TEL:03-5460-3570(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造及び販売
従業員	2,692名(個別) / 4,045名(連結)
ホームページ	http://www.moriseiki.com/

役員

2012年6月15日現在

取締役社長 ※	森 雅彦
取締役副社長 ※	近 藤 達生
専務取締役	玉 井 宏明
常務取締役	高 山 直士
取締役	佐 藤 壽雄
常勤監査役	内ヶ崎 守邦
監査役	加 藤 由人
監査役	栗 山 道義

(注)1. ※印は、代表取締役を示しています。
2. 監査役の加藤由人、栗山道義の両氏は、社外監査役です。

株式の状況

2012年3月31日現在

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	110,600,961株(自己株式7,874,351株除く)
単元株式数	100株
期末株主数	48,347名

大株主

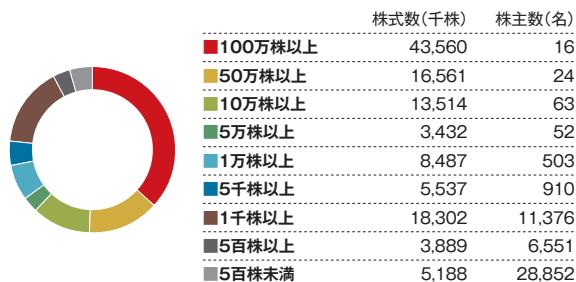
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
ギルデマイスターアーゲー (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	6,042	5.46
ザバンクオブニューヨーク ー ジャスディックトリーティー アカウ (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	3,625	3.28
森 雅彦	3,540	3.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,325	3.01
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,164	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,681	2.42
森 智恵子	2,287	2.07
全国共済農業共同組合連合会 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	1,984	1.79
森 優	1,965	1.69
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	1,380	1.25

(注) 当社は、自己株式(7,874,351株)を保有していますが、上記大株主からは除いております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031(通話料無料)
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話:0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.moriseiki.com/japanese/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて
当社の企業情報を随時開示しています。
製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

<http://www.moriseiki.com/>



TOPページ



IRページ

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6141**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjf.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

